

**平成27年度 科学研究費助成事業（特別推進研究）
研究進捗評価 現地調査報告書**

課題番号	25000001	研究期間	平成25年度～平成29年度
研究課題名	少子高齢化からみる階層構造の変容と格差生成メカニズムに関する総合的研究		
研究代表者名 (所属・職)	白波瀬 佐和子 (東京大学 大学院人文社会系研究科 教授)		

評価コメント

本研究は、急激な少子高齢化に伴って、日本社会の階層構造がどのように変化しつつあるのかを、「社会階層と社会移動全国調査（SSM調査）」の第7回調査と、中高年・若年を区別したパネル調査により解明することを目的としている。

既に中高年パネル調査（第3ウェーブ）、3回のプレ調査、第I期SSM調査を実施し、現在、第II期SSM調査を実施中で、当初の計画どおり順調に進んでいる。特に、職業生活から離れた高齢層を新たにSSM調査の対象に加えた点について、理論面・実証面での検討を加えながら研究が進められていることが確認できた。また、3回実施されたプレ調査によってサンプリング時期と実施時期とのズレの影響の検討や、面接票・留置票の作成・配付の方法を工夫したりするなど、調査の実施にあたっての工夫も随所に見られた。調査の企画・実施からデータの整理・分析まで時間がかかるのは、この種の研究でやむを得ないことだが、研究チームは調査の企画・実施と並行して、連続する過去の調査データや諸研究を活用しながら社会移動・社会階層研究に関する新しい知見を生み出しつつあり、それらは、本研究で実施する調査の分析のための理論的・実証的な基盤となるものといえる。日本の社会移動・社会階層研究の研究水準を高める牽引的なプロジェクトとして十分に期待できる。